

## 010509その他の家具・装備品製造業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2019	1	20 ～ 22	日帰り出張をし、帰りの飛行機の機内で胸痛を訴え、突然意識を失った。 A E D等の措置が行われたが、同日午後に死亡したものの。	921	90	10 ～ 29
2019	9	12 ～ 14	パネルソー（ダブルソータイプ）で木製フレーム側面の切削加工を行うため、左右二本の「ソーユニット」の幅を調整していたところ、何らかの要因でソーユニットの間で頭部を挟まれた。	131	7	10 ～ 29
2016	4	7 ～ 8	国道で、ワンボックスカーを運転中、道路左脇の側溝に転落し、側溝脇にあった電柱に衝突した。事業場所属労働者である運転手は頸椎損傷により、助手席同乗の労働者は外傷性くも膜下出血により、それぞれ発生同日死亡した。	231	17	1～ 9
2016	4	7 ～ 8	国道で、ワンボックスカーを運転中、道路左脇の側溝に転落し、側溝脇にあった電柱に衝突した。事業場所属労働者である運転手は頸椎損傷により、助手席同乗の労働者は外傷性くも膜下出血により、それぞれ発生同日死亡した。	231	17	1～ 9
2014	2	14 ～ 15	被災者は、圧縮成形機を使用してウレタン製ソファの中身を成形する作業中、同機械に上半身を挟まれ被災したものと推測される。災害発生状況を現認した者はおらず、第一発見者によると、被災者は、同圧縮成形機のそばで顔面及び右手甲に火傷を負ってぐったりしていた。	169	7	100 ～ 299
		21	ベッドに使用するスプリングを製造する職場において、硬鋼線（コイル			100

2010	9	～ 22	状)の重さを天井クレーンを使用して計量する過程で、何らかの原因により感電したものと思われる。硬鋼線設置台のモーター部分または天井クレーンからの漏電等が考えられる。	169	13	～ 299
2007	12	～ 11	10 仏壇製造工場の2階にある西側塗装室内から出火し、鉄骨3階建て延べ約 1580平方メートルの工場建屋が全焼した。この火事で、3階で金箔貼 り作業をしていた作業員2名が逃げ遅れて死亡した。	512	16	～ 49
2007	12	～ 11	10 仏壇製造工場の2階にある西側塗装室内から出火し、鉄骨3階建て延べ約 1580平方メートルの工場建屋が全焼した。この火事で、3階で金箔貼 り作業をしていた作業員2名が逃げ遅れて死亡した。	512	16	～ 49
2007	4	～ 15	被災者は、昇降丸のこ盤を使い屋根用部材(材質けやき、長さ86.6cm、幅約11.2cm、厚さ7.3mm、)の端部を幅約2cmに縦引き 作業していたところ、切れ端の材が反ぱつし、被災者に突き刺さり、死亡 した。反ぱつした材は、先端部が約11cmに渡って割れ、尖った状態と なっていた。	131	4	1～ 9
2001	8	～ 14	13 箱型(20×20×5cm)に組んだ木枠の側面を丸のこ盤で切断中に、木箱が反 発し、左腹部当った。	131	4	10 ～ 29
2001	6	～ 16	15 建具の取付工事を終え次の現場へ軽ワゴン車で向かって走行中、県道の赤 信号で停車していたときに後から来た大型保冷車に追突され、さらに前方 にいた乗用車に追突して炎上し、焼死した。	221	17	～ 99
2001	4	～ 18	17 座椅子製造工場において、座椅子の骨組みである金属パイプにスポンジ材 を貼り付けているときに、突如火災が発生し、逃げ遅れて焼死した。	512	16	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.html)に戻る。